



泉水朝宏講師（中央）から卒業研究へのアドバイスを受ける生徒たち

八戸西高卒業研究事前学習

スポーツ論文「いろいろは」学ぶ

八学大講師、作成手順指導

八戸

青森県立八戸西高（坪宏全校長）は28日、同校でスポーツ科学科3

年生38人を対象とした卒業研究事前学習を行った。高大連携協定を結ぶ八戸学院大からスポーツが専門の講師を招き、講義や添削指導を通じて生徒が研究活動の「いろいろ」を学んだ。
（上條哲洋）

同科の3年生は1年かけて「先行研究やスポーツに関する卒業論文を完成させ、年度末に発表する。テーマは自身が取り組むスポーツや、興味のある分野など自由に設定し、情報を収集、分析している。後半は泉水講師と山田さんが論文を執筆する生徒に1人ずつ声をかけ、悩みや改善点について助言した。

両校は今年2月、教育に関する交流・連携を図る高大連携協定を締結。今回は協定を生かし、同大人間健康学科の泉水朝宏講師（41）と、ゼミ生の同科4年の山田林華子さん（21）が指導を担当した。

前半の講義では、泉水講師が研究のプロセスや論文の作成手順、テーマの決め方などを解説。「研究でもPDCAサイクルが大切。計画と評価